

平成17年度総会

日時:平成17年5月21日(土)
会場:東京国際フォーラム7F ホールB7(2)



社団法人

日本超音波医学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-1
クロセビア本郷3F

U R L: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsum/>

T E L: 03-3813-5540

F A X: 03-3816-7644

E-Mail: office@jsum.or.jp

平成17年度総会次第

日時：平成17年5月21日(土) 12時00分～13時00分

会場：東京国際フォーラム7F ホールB7(2)

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1. 平成16年度事業報告	(資料1)	庶務担当理事
2. 平成16年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3. 平成16年度収支決算監査報告	(資料3)	監 事
4. 平成17年度事業計画(案)	(資料4)	庶務担当理事
5. 平成17年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6. 会員の除名	(資料6)	理事長
7. 功労会員推薦	(資料7)	理事長
8. その他		理事長
議事録署名人の選出		議 長
閉会		議 長
功労会員の表彰		理事長
第7回特別学会賞表彰		理事長
第4回松尾賞表彰		理事長
第5回技術賞表彰		理事長
第19回菊池賞(論文賞)表彰		理事長
第6回奨励賞表彰		理事長
永年勤続表彰		理事長

(資料 1)

平成16年度事業報告
(自平成16年 4 月 1 日 至平成17年 3 月31日)

平成16年度における本会の事業報告は次のとおりである。
I. 会員現況

(平成17年 3 月31日現在)

会員種別	平成16年 3 月31日 現 在 数	平成17年 3 月31日 現 在 数	増 減	備 考
名 誉 会 員	15	14	- 1	
功 労 会 員	29	29	0	
正 会 員	8, 443	8, 288	- 155	
準 会 員	4, 925	5, 076	+ 151	
学生会員	3	6	+ 3	
賛助会員	26 (79口)	24 (75口)	- 2	
計	13, 441	13, 437	- 4	

名誉会員 (*物故者)

*青柳 健次 *加藤 金子 正 *菊池 喜充 *田中 憲二 *吉田 常雄 *吉岡 勝哉
*永山 徳郎 *金岡 子仁 郎 *実吉 純一 *林有 賀 周 一 *古賀 敏夫 *海老名 敏明
*板原 克哉 *奥山 大太郎 *福中 島 茂 *安藤 邊 弘 三 *井出 正裕 平 尾 本 良 三
*奥 島 基 治 竹 原 靖 明 福 田 守 道 渡 邊 弘 決 松 尾 裕 英 尾 平 田 經 雄
(以上30名)

平 成 1 6 年 度 収 支 計 算 書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科	目	予 算 額	決 算 額	差 額
基本財産運用収入	基本財産利息収入	42,000	10,800	31,200
会費収入		151,376,000	146,386,000	4,990,000
	正会員会費	(109,603,000)	(104,479,500)	(5,123,500)
	準会員会費	(38,472,000)	(38,729,000)	(△ 257,000)
	学生会員会費	(21,000)	(17,500)	(3,500)
	賛助会員会費	(3,280,000)	(3,160,000)	(120,000)
入会金収入		1,142,000	1,075,500	66,500
広告収入	学会誌	3,320,000	2,640,000	680,000
学術集会収入		45,450,000	36,379,113	9,070,887
	参加費収入	(19,450,000)	(15,499,113)	(3,950,887)
	展示収入	(26,000,000)	(20,880,000)	(5,120,000)
地方会関係収入	地方会学術集会収入ほか	40,550,000	40,733,028	△ 183,028
学会誌別刷収入		750,000	429,500	320,500
WFUMB会誌収入		1,800,000	1,570,000	230,000
専門医制度関係収入		4,820,000	4,107,500	712,500
	認定試験	(2,160,000)	(2,180,000)	(△ 20,000)
	更新認定料	(1,010,000)	(1,025,000)	(△ 15,000)
	資料頒布料	(1,650,000)	(902,500)	(747,500)
工学フェロー制度関係収入		220,000	223,500	△ 3,500
	認定審査	(20,000)	(11,500)	(8,500)
	更新認定料	(200,000)	(212,000)	(△ 12,000)
検査士制度関係収入		35,200,000	35,125,000	75,000
	認定試験	(31,350,000)	(31,480,000)	(△ 130,000)
	更新認定料	(3,750,000)	(3,622,000)	(128,000)
	資料頒布料	(100,000)	(23,000)	(77,000)
教育関係収入		600,000	778,000	△ 178,000
	教育セッション	(600,000)	(764,000)	(△ 164,000)
	資料頒布料	(0)	(14,000)	(△ 14,000)
雑収入		2,200,000	1,134,236	1,065,764
寄付金収入		0	28,036,631	△ 28,036,631
受取利息		200,000	77,104	122,896
特定預金取崩収入		11,500,000	5,500,000	6,000,000
	学術奨励積立預金取崩収入	(5,500,000)	(0)	(5,500,000)
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(500,000)	(500,000)
	研究開発班設置積立預金取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
当 期 収 入 合 計 (A)		299,170,000	304,205,912	△ 5,035,912
前期繰越収支差額		0	58,962,420	△ 58,962,420
収 入 合 計 (B)		299,170,000	363,168,332	△ 63,998,332

平成16年度収支決算監査報告

平成16年度収支決算書について、監査をおこなったところ、適正な経理が行われたことを認めます。

平成17年4月22日

社団法人日本超音波医学会

監事 北 島 顕 

監事 入 木 晋 一 

(資料4)

平成17年度事業計画(案)

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

平成17年度における本会の事業計画は次のとおりである。

I. 学会誌の発行

「超音波医学」(和文誌)第32巻Supplement号、第32巻3号から6号と第33巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol. 32 No. 2からNo. 4とVol. 33 No. 1までの4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

II. 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

- 第78回学術集会 (会長 菅原基晃)
平成17年5月20日～22日 於：東京国際フォーラム(東京都)
以降の予定
第79回学術集会 (会長 田中幸子)
平成18年5月26日～28日 於：グランキューブ大阪(大阪府)
第80回学術集会 (会長 鄭忠和)
平成19年春開催予定 於：未定(鹿児島県)

III. 地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

- a. 北海道地方会学術集会
第29回 会長 名取博
平成17年10月8日 於：札幌医科大学(札幌市)
第30回 会長 三神大世
平成18年3月4日 於：未定(札幌市)
b. 東北地方会学術集会
第30回 会長 那須雅孝
平成17年9月25日 於：岩手医科大学(盛岡市)
第31回 会長 沼田功
平成18年3月19日 於：長陵会館(仙台市)
c. 関東甲信越地方会学術集会
第17回 会長 石光敏行
平成17年10月22日～23日 於：パシフィコ横浜(横浜市)
d. 中部地方会学術集会
第22回 会長 高橋正樹
平成17年7月3日 於：名古屋国際会議場(名古屋市)
第23回 会長 奥田喜朗
平成18年1月22日 於：アスト津(津市)
e. 関西地方会学術集会
第30回 会長 野上浩実
平成17年9月24日 於：千里ライフサイエンスセンター(大阪市)
第31回 会長 片岡慶正
平成18年2月4日 於：京都テレサ(京都市)
f. 中国地方会学術集会
第41回 会長 春間賢
平成17年9月10日 於：倉敷市芸文会館(倉敷市)
g. 四国地方会学術集会
第15回 会長 福家義雄
平成17年10月1日 於：独立行政法人国立病院機構高知病院(高知市)
h. 九州地方会学術集会
第15回 会長 石橋大海
平成17年10月2日 於：シーハットおおむら(大村市)

IV. 教育セッション

- 第4回
平成17年5月21日～22日 於：東京国際フォーラム(東京都)

V. 各種委員会等

1. 企画委員会

- a. 本学会正会員増についての検討を引き続き行う。
b. 各認定試験の再編についての検討を引き続き行う。
c. その他、理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

2. 機器及び安全に関する委員会

- a. 「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行う。
b. 超音波診断機器用プローブの温度上昇に関する調査、及び検討を行う。
特に外部研究組織との連携を深める。
c. 超音波造影剤の安全性について、調査、及び検討を行う。
1) バブルの安全性に関する動物実験を行う。
2) 外部研究組織との連携を深めるための検討を行う。
d. DICOM規格に関する超音波画像の運用等について、検討する。

3. 編集委員会

- a. 「超音波医学」(和文誌)第32巻Supplement号、第32巻3号から6号と第33巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol. 32 No. 2からNo. 4とVol. 33 No. 1までの4冊、計11冊を発行する。

平成 1 7 年度収支予算書（案）

収入の部

(単位：円)

科	目	平成 1 6 年度予算	平成 1 7 年度予算	摘 要
基本財産運用収入	基本財産利息収入	42,000	20,000	
会費収入		151,376,000	151,073,000	
	正会員会費	(109,603,000)	(108,407,000)	@13,000 ^円 × 8,339 ^人
	準会員会費	(38,472,000)	(39,565,000)	@10,000 ^円 × 1,349 ^人 , @ 7,000 ^円 × 3,725 ^人
	学生会員会費	(21,000)	(21,000)	@3,500 ^円 × 6 ^人
	賛助会員会費	(3,280,000)	(3,080,000)	@40,000 ^円 × 77 ^人 (25 ^名)
入会金収入		1,142,000	1,131,000	正@2,000 ^円 ×330 ^人 , 準@1,500 ^円 ×325 ^人 , 学生@1,000 ^円 ×4 ^人
広告収入	学会誌	3,320,000	3,320,000	
学術集会収入		45,450,000	54,550,000	
	参加費収入	(19,450,000)	(29,550,000)	
	展示収入等	(26,000,000)	(25,000,000)	
地方会関係収入	地方会学術集会収入	40,550,000	48,990,000	
学会誌別刷収入		750,000	600,000	和文誌6回×@125,000 ^円
WFUMB機関誌収入		1,800,000	1,800,000	@10,000 ^円 ×180 ^冊
専門医制度関係収入		4,820,000	8,980,000	
	認定試験	(2,160,000)	(2,160,000)	@20,000 ^円 ×108 ^人
	更新認定料	(1,010,000)	(5,170,000)	@10,000 ^円 ×503 ^人 , @ 5,000 ^円 × 26 ^人
	資料頒布料	(1,650,000)	(1,650,000)	問題集@ 4,500 ^円 ×300 ^冊 , 研修手帳@ 3,000 ^円 ×100 ^冊
工学フェロー制度関係収入		220,000	177,000	
	認定審査	(20,000)	(177,000)	@ 5,000 ^円 × 5 ^人 , ICカート@ 2,000 ^円 × 76 ^人
	更新認定料	(200,000)	(0)	@ 5,000 ^円 × 0 ^人
検査士制度関係収入		35,200,000	35,200,000	
	認定試験	(31,350,000)	(31,350,000)	@20,000 ^円 ×1,300 ^人 , @5,000 ^円 ×1,070 ^人
	更新認定料	(3,750,000)	(3,750,000)	@ 5,000 ^円 ×750 ^人
	資料頒布料	(100,000)	(100,000)	カイトライン@ 1,000 ^円 ×100 ^冊
教育関係収入	教育セッション	600,000	800,000	@ 2,000 ^円 ×400 ^人
雑収入		2,200,000	2,200,000	
受取利息収入		200,000	140,000	
特定預金取崩収入		11,500,000	11,500,000	
	学術奨励積立預金取崩収入	(5,500,000)	(5,500,000)	
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	
	研究開発班設置積立預金 取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	
当期収入合計		299,170,000	320,481,000	
前期繰越収支差額				
収入合計				

(資料6)

除 名 者
(平成17年3月31日現在該当者)

370名

内訳 正 会 員 283名

準 会 員 87名

学生会員 0名

賛助会員 0社

(資料7)

功 勞 会 員 推 薦

本学会功勞会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. サカグチ セイゴウ
坂 口 正 剛 氏
2. マルハシ アキラ
丸 橋 暉 氏

第7回特別学会賞

伊 東 紘 一 (自治医科大学臨床検査医学)

第4回松尾賞

水 重 克 文 (高松東病院)

秋山いわき (湘南工科大学)

第5回技術賞

Real-time Virtual Sonography (CT画像と超音波画像の融合) 技術

三 竹 毅¹、荒 井 修¹、大 竹 剛¹、榊 原 一 洋¹、安 喰 直 子¹、杉 山 隆 司¹、大 熊 潔²、
押 尾 晃 一²、新 本 弘²、岩 崎 隆 雄³
(¹ (株)日立メディコ技術研究所、² 慶應義塾大学、³ 東北大学)

動脈壁弾性特性計測システム

川 淵 正 己¹、萩 原 尚¹、反 中 由 直¹、加 藤 真¹、鈴 木 隆 夫¹、橋 本 雅 彦¹、砂 川 和 宏²、
金 井 浩³、長谷川英之³、小 岩 喜 郎³、市 来 正 隆⁴、手 塚 文 明⁵
(¹ 松下電器産業(株)、² (株)パナソニックモバイル仙台研究所、³ 東北大学大学院、⁴ 東日本旅客鉄道(株)、⁵ 仙台医療セ
ンター)

第19回菊池賞(論文賞)

基礎領域

Ultrasonically induced cell damage and membrane lipid peroxidation by photofrin II: mechanism of sonodynamic
activationE31(1)
Nagahiko YUMITA¹, Shin-ichiro UMEMURA²
(¹Toho University, ² Hitachi Ltd)

循環器領域

腹部大動脈瘤内にみられる時計回転方向螺旋流の臨床的意義について：超音波ドブラ法による観察31(4)
枋 尾 人 司、岡 部 純 弘、岩 崎 信 広、大 下 幸 江、浜 田 一 美、中 村 仁 美、小 形 恵 子、菅 我 登 志 子、
藤 本 敏 明、織 野 彬 雄
(神戸市立中央市民病院)

Left atrial wall motion velocity measured by the velocity profile method with tissue Doppler echocardiography in normal
subjects: its relation to agingE31(3)
Naoyasu YOSHIDA, Mitsunori OKAMOTO, Toshiyuki FUKUHARA
(Hiroshima Prefectural Hospital)

腹部領域

腹部超音波診断における Phase Inversion Tissue Harmonic Imaging の基礎的並びに臨床的研究31(3)
玉 井 秀 幸
(和歌山県立医科大学)

Classification of ultrasonographic images of small hepatocellular carcinoma using galactose-based contrast agent: relation
between image patterns and histologic featuresE31(3)
Yasuo MATSUDA, Iwao YABUUCHI, Toshikazu ITO, Ryoichi ARIMA
(Otemae Hospital)

【顕彰委員会】

委員長

菅 原 基 晃

副委員長

里 見 元 義

委 員

(基 礎)	秋山いわき	椎 名 毅
(消 化 器)	秋 本 伸	齊 藤 明 子
(循 環 器)	高 沢 謙 二	竹 中 克
(産婦人科)	上 妻 志 郎	吉 田 五 朗
(泌 尿 器)	齊 藤 雅 人	中 村 昌 平
(総 合)	小 西 豊	谷 口 信 行

以上15名

アクシデント報告

(詳 細)

ある会員の先生に 2003 年 8 月から 2004 年 9 月までの 1 年間、本学会からの発送物が届かないというアクシデントがあった。

1. 先生は 4 年前に自宅住所の変更届けを事務局に提出されていたが、事務局のミスで自宅住所の変更がなされなかったことが原因である。
2. 先生は 2003 年 8 月に発送先の変更届け(勤務先から自宅へ)を事務局へ提出されたため、この時点以降の発送物が旧住所に送られ、事務局に返送されてきていた。この返送郵便物のチェックを十分にしなかったことも事務局の責任である。
3. さらに、この間、自宅住所を記載した専門医の資格更新書類が先生から提出されていたにもかかわらず、この住所と会員登録住所の照合も行われていなかった。

(今後の対応)

今後、本学会から発送している発送物(学会誌・書類等)で、宛先不明や転居先不明で事務局に返送されてくる書類については、随時、住所確認の作業を実施することとする。また、通常の住所変更(連絡用紙・ホームページ等)以外にも、専門医資格更新書類等についても同様にその時点の会員情報と異なっている点があれば、住所変更を実施することとする。

社団法人日本超音波医学会
庶務担当理事 竹中 克
日本超音波医学会事務局一同

科 目			平成１６年度予算	平成１７年度予算	摘 要
事業費	学会誌経費		62,150,000	56,824,000	英文誌発行（４回／年）
		出版費	(40,200,000)	(35,955,000)	
		発送経費	(16,950,000)	(15,653,000)	
		編集委員会費	(1,300,000)	(1,453,000)	
		英文校正費	(3,000,000)	(3,128,000)	
		査読通信費	(700,000)	(635,000)	
	国際交流関係費		8,160,000	5,600,000	@200,000 ^円 /月×6 ^{ヶ月} ×2 ^人
		フェローシップ奨学金	(4,800,000)	(2,400,000)	
		国際交流委員会費	(300,000)	(300,000)	
		A F S U M B 分担金	(3,060,000)	(2,900,000)	
			2,700,000	2,700,000	
	WFUMB機関誌関係費		46,030,000	59,722,000	① 機関誌 @109 ^名 /年×190 ^名 ×110 ^{000円} /名=2,325,600 〒 発送郵便代 366,600 ^円 /年 第78回 61,550,000 ^円 ，事務局旅費他 172,000 ^円
		学術集会経費	(46,030,000)	(59,722,000)	
	学術集会補助金 委員会等関係費 地方会関係費	学術集会会議費	(0)	(0)	{ 企画 427,000 ^円 ，機器・安全 2,388,000 ^円 保険 452,000 ^円 ，用語・診断 2,000,000 ^円 規約 50,000 ^円 ，インターネット 3,000,000 ^円 倫理 200,000 ^円 前年度繰越金の再交付を含む
			2,000,000	2,000,000	
			3,800,000	8,517,000	
			58,360,000	65,696,000	
		地方会学術集会経費	(40,550,000)	(48,990,000)	
		地方会交付金	(17,390,000)	(16,386,000)	
	専門医制度関係費	運営委員長会議費	(420,000)	(320,000)	日本専門医認定制機構年会費・事業経費を含む
			5,200,000	5,200,000	
		認定費	(2,980,000)	(2,630,000)	
		専門医制度委員会費	(2,220,000)	(2,570,000)	
	工学フェロー制度関係費	頒布資料印刷費	(0)	(0)	
			420,000	741,000	
		認定費	(120,000)	(468,000)	
	検査士制度関係費	工学フェロー制度委員会費	(300,000)	(273,000)	試験会場（東京・大阪）
			13,700,000	12,900,000	
		認定費	(11,500,000)	(11,500,000)	
	教育関係費	検査士制度委員会費	(2,100,000)	(1,100,000)	超音波医学研修ガイドライン
		頒布資料印刷費	(100,000)	(300,000)	
			2,580,000	5,270,000	
		教育セッション費	(1,930,000)	(637,000)	
	顕彰関係費 研究開発促進関係費	教育委員会費	(650,000)	(2,583,000)	第78回学術集会開催中に実施
		生涯教育費	(0)	(2,050,000)	
			6,500,000	6,130,000	
		18,500,000	18,000,000		
	研究開発班設置費	(15,000,000)	(15,000,000)	卒後超音波研修カリキュラム印刷等 特別学会賞，菊池賞，奨励賞，技術賞，松尾賞	
	研究会設置費	(2,500,000)	(2,000,000)		
	研究開発促進委員会費	(1,000,000)	(1,000,000)		
事業費計			230,100,000	249,300,000	
管理費	人件費 会計顧問料 福利厚生費 法定福利費 職員交通費 事務所賃借料 事務用機器賃借料 備品費 文具消耗品費 光熱水料 事務ＯＡ化費 会議費 印刷費 通信費 公租公課 雑費 払込手数料 選挙関係費		37,080,000	38,830,000	
			500,000	425,000	
			700,000	700,000	
			4,900,000	4,900,000	
			1,490,000	1,550,000	
			7,820,000	7,820,000	
			710,000	710,000	
			400,000	400,000	
			800,000	800,000	
			650,000	650,000	
			500,000	500,000	
			3,430,000	3,000,000	
			1,400,000	1,400,000	
			3,450,000	3,400,000	
			1,390,000	1,200,000	
			700,000	496,000	
			1,700,000	1,700,000	
			50,000	2,200,000	
		管理費計			67,670,000
特定預金支出	退職給与引当預金支出		900,000	0	
予備費			500,000	500,000	
当期支出合計			299,170,000	320,481,000	
当期収支差額					
次期繰越収支差額					

- b. 日本超音波医学会アーカイブスの設立と充実を図る。
- 4. 用語・診断基準委員会
 - a. 医用超音波用語関係
 - 1) 「医用超音波用語集」の改訂を行う。
 - b. 超音波診断基準関係
 - 1) 「心機能指標の標準的計測法とその解説」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
 - 2) 「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準の分類とその基準」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
 - 3) 「肝腫瘍の超音波診断基準」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
 - 4) 「結節性甲状腺診断基準」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
 - 5) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍非形成性病変」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
 - 6) 「眼科領域計測法のためのガイドライン」(案)を完成し、学会誌に公示して会員の意見を取りまとめる。
- 5. 保険委員会
 - a. 外保連、及び内保連へ診療報酬点数改定、新規適用要望書を提出する。
 - b. 他学会及び関連学会との情報交換を行う。
 - c. 各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の現状をアンケート調査し、今後の内保連や外保連への要望の参考にする。
- 6. 国際交流委員会
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
 - 「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 - 1) 2005年度超音波Fellowship研修生の研修を実施する。
 - 2) 2006年度超音波Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 3) 今後の国際貢献のあり方について検討する。
 - b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 2007年にバンコク(詳細未定)にて開催される第8回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) 2006年にソウル(平成18年5月28日～6月1日)にて開催される第11回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 3) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌にJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
 - 4) WFUMBとAFSUMBのEducation Programに協力する。
- 7. 教育委員会
 - a. 第78回学術集會会期中の平成17年5月21日(土)、22日(日)に東京国際フォーラム(東京都)を会場として、第4回教育セッションを開催する。
 - b. 第79回学術集會会期中に大阪府にて開催予定の「第5回教育セッション」の企画案を検討し、開催に向けての準備を行う。
 - c. 「超音波専門医研修カリキュラム」の英語版完成に向けての検討を行う。
- 8. 超音波専門医制度委員会
 - a. 平成17年度研修施設の指定を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - b. 第15回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - c. 第11回超音波専門医資格更新を実施し、更新者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - d. 平成17年度超音波指導医の新規自薦申請者の公募を行い、新規及び再委嘱候補者の認定審査を行い、委嘱を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - e. 第16回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
 - f. 第12回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
 - g. 平成18年度研修施設の指定に向けての審査を行う。
 - h. 有限責任中間法人日本専門医認定制機構評議員会に出席する。
 - i. 本制度の改革・整備に向けての審議を行う。
 - j. 本制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
 - k. 本制度に関する他学会との連携を深める。
- 9. 顕彰委員会
 - a. 第19回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
 - b. 第7回特別学会賞の選考を行う。
 - c. 第6回奨励賞の選考を行う。
 - d. 第5回技術賞の選考を行う。
 - e. 第4回松尾賞の選考を行う。
- 10. 超音波検査士制度委員会
 - a. 第21回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 2006年超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 - d. 超音波検査士制度を充実させる。
- 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第7回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
 - b. 第8回超音波工学フェローの公募を行う。
 - c. 第2回超音波工学フェロー資格更新の公募を行う。
- 12. 研究開発促進委員会
 - a. 平成17年度研究開発班の設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。
 - b. 平成17年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
 - c. 平成18年度研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - d. 平成18年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - e. 第78回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
- 13. 倫理委員会
 - a. 倫理委員会委員として外部委員の選任を行う。
 - b. 超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について審議、及び検討を行う。
- 14. 平成18・19年度選挙管理委員会
 - a. 役員評議員選任規則に従い、役員及び評議員の選挙を行う。

15. 会員資格審査関係
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。

- 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
- 2) 除名該当者の審査
- 3) 会員種別変更希望者の審査
- 4) 休会希望者の審査

16. 学術集会関係

第81回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。

17. 地方会関係

a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進

- 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
- 2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
- 3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
- 4) 地方会講習会に関して助言を行う。

b. 地方会運営委員長会議の開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。

c. 地方会を通じての正会員数増加の推進を行う。

18. 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

19. インターネット関係

引き続き本学会会員のための専用WEBシステムの構築、及び各種案内を電子メールで送付出来るシステムの構築を行い、会員への利便を図る。

VI. 日本医学会関係

1. 第73回日本医学会定例評議員会に参加する。
2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

VII. 日本学術会議関係

1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加する。
2. 第20期日本学術会議会員の候補者、及び推薦人(推薦人の予備者を含む)の届け出等の手続きを行う。

監 査 報 告 書

平成 17 年 4 月 22 日

社団法人日本超音波医学会

理事長 松 崎 益 徳 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目利昭



私は、社団法人日本超音波医学会の平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日までの事業年度の計算書類、すなわち、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録についての監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人日本超音波医学会の上記事業年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

支出の部

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
事業費	学会誌経費	62,150,000	54,857,028	7,292,972
	出版費	(40,200,000)	(37,605,127)	(2,594,873)
	発送経費	(16,950,000)	(13,198,967)	(3,751,033)
	編集委員会費	(1,300,000)	(1,750,668)	(△ 450,668)
	英文校正費	(3,000,000)	(2,101,266)	(898,734)
	査読通信費	(700,000)	(201,000)	(499,000)
	国際交流関係費	8,160,000	7,873,965	286,035
	奨学金	(4,800,000)	(4,800,000)	(0)
	委員会費	(300,000)	(200,425)	(99,575)
	AFSUMB分担金	(3,060,000)	(2,873,540)	(186,460)
	WFUMB機関誌代	2,700,000	2,596,007	103,993
	学術集会関係費	46,030,000	36,811,065	9,218,935
	学術集会経費	(46,030,000)	(36,811,065)	(9,218,935)
	学術集会会議費	(0)	(0)	(0)
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
	委員会等関係費	3,800,000	2,687,276	1,112,724
	地方会関係費	58,360,000	52,429,445	5,930,555
	地方会学術集会経費	(40,550,000)	(35,986,585)	(4,563,415)
	地方会交付金	(17,390,000)	(16,438,240)	(951,760)
	運営委員長会議費	(420,000)	(4,620)	(415,380)
	専門医制度委員会費	5,200,000	8,865,299	△ 3,665,299
	専門医認定関係費	(2,980,000)	(2,257,496)	(722,504)
	専門医制度委員会費	(2,220,000)	(1,559,248)	(660,752)
	頒布資料印刷費	(0)	(5,048,555)	(△ 5,048,555)
	工学フェロー制度委員会費	420,000	155,680	264,320
	工学フェロー認定費	(120,000)	(23,220)	(96,780)
	工学フェロー制度委員会費	(300,000)	(132,460)	(167,540)
	検査士制度委員会費	13,700,000	10,512,138	3,187,862
	検査士認定関係費	(11,500,000)	(9,419,695)	(2,080,305)
	検査士制度委員会費	(2,100,000)	(921,293)	(1,178,707)
	頒布資料印刷費	(100,000)	(171,150)	(△ 71,150)
	教育委員会費	2,580,000	2,782,642	△ 202,642
	教育セッション費	(1,930,000)	(1,938,782)	(△ 8,782)
	教育委員会費	(650,000)	(843,860)	(△ 193,860)
	生涯教育費	(0)	(0)	(0)
	顕彰委員会関係費	6,500,000	5,272,019	1,227,981
	研究開発促進委員会費	18,500,000	16,813,192	1,686,808
	研究開発班設置費	(15,000,000)	(13,830,000)	(1,170,000)
	研究会設置費	(2,500,000)	(1,900,000)	(600,000)
	研究開発促進委員会費	(1,000,000)	(1,083,192)	(△ 83,192)
事業費計		230,100,000	203,655,756	26,444,244
事務費	人件費	37,080,000	35,965,722	1,114,278
	会計顧問料	500,000	500,000	0
	福利厚生費	700,000	720,530	△ 20,530
	法定福利費	4,900,000	4,449,157	450,843
	職員交通費	1,490,000	1,793,760	△ 303,760
	事務所賃借料	7,820,000	7,819,860	140
	事務用機器賃借料	710,000	708,120	1,880
	備品費	400,000	158,579	241,421
	文具消耗品費	800,000	703,744	96,256
	光熱水料	650,000	566,181	83,819
	事務OA化費	500,000	549,587	△ 49,587
	会議費	3,430,000	3,877,623	△ 447,623
	印刷費	1,400,000	749,032	650,968
	通信費	3,450,000	4,013,614	△ 563,614
	公租公課	1,390,000	1,783,300	△ 393,300
	雑費	700,000	552,295	147,705
	払込手数料	1,700,000	1,685,386	14,614
	選挙関係費	50,000	19,280	30,720
	退職金	0	2,487,200	△ 2,487,200
事務費計		67,670,000	69,102,970	△ 1,432,970
特定預金支出	退職給与引当預金支出	900,000	900,000	0
予 備 費		500,000	0	500,000
当期支出合計(C)		299,170,000	273,658,726	25,511,274
当期収支差額(A)-(C)		0	30,547,186	△ 30,547,186
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	89,509,606	△ 89,509,606

正 味 財 産 増 減 計 算 書
平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	30,547,186		
退職給与引当預金増加額	900,000	31,447,186	
2 負債減少額			
退職給与引当金取崩額	2,487,200	2,487,200	
増加額合計			33,934,386
II 減少の部			
1 資産減少額			
松尾賞積立預金取崩額	500,000		
研究開発班設置基金取崩額	5,000,000	5,500,000	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	2,357,910	2,357,910	
減少額合計			7,857,910
当期正味財産増減額			26,076,476
前期繰越正味財産額			349,012,410
期末正味財産額合計			375,088,886

貸 借 対 照 表
平成17年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	66,624,284		
郵便振替	12,648,445		
前払金	4,118,000		
仮払金	10,981,333		
未収入金	747,235		
流動資産合計		95,119,297	
2 固定資産			
1)基本財産			
投資有価証券	36,000,000		
基本財産合計	36,000,000		
2)その他の固定資産			
退職給与引当預金	9,786,010		
減価償却引当預金	2,500,000		
国際交流積立預金	4,500,000		
名簿刊行積立預金	10,000,000		
選挙関係費積立預金	0		
事務所整備積立預金	84,000,000		
学術奨励積立預金	115,500,000		
松尾賞積立預金	7,500,000		
研究開発班設置基金預金	15,000,000		
電話加入権	192,800		
家屋賃貸借契約敷金	16,384,500		
その他の固定資産合計	265,363,310		
固定資産合計		301,363,310	
資産合計			396,482,607
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	1,133,000		
仮受金	2,011,500		
未払金	2,201,914		
預り金	263,277		
流動負債合計		5,609,691	
2 固定負債			
退職給与引当金	15,784,030		
固定負債合計		15,784,030	
負債合計			21,393,721
III 正味財産の部			
正味財産			375,088,886
(うち基本金)			(36,000,000)
(うち当期正味財産増減額)			(26,076,476)
負債及び正味財産合計			396,482,607

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
個別法に基づく原価基準である。
- (2) 退職給与引当金の計上基準
職員が自己都合により退職した場合に対する退職金の100%相当額を計上している。
- (3) 資金の範囲
資金の範囲は、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金および預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。
- (4) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産の増減はない。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
基本財産	36,000,000	36,000,000

3. 担保に供している資産はない。

4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	48,311,712	79,272,729
前払金	4,573,500	4,118,000
仮払金	10,000,000	10,981,333
未収入金	525,000	747,235
合 計	63,410,212	95,119,297
前受金	1,177,000	1,133,000
仮受金	2,382,000	2,011,500
未払金	690,913	2,201,914
預り金	197,879	263,277
合 計	4,447,792	5,609,691
次期繰越収支差額	58,962,420	89,509,606

5. 保証債務はない。

平成17年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	現金手許有高	190,295		
普通預金	りそな銀行本郷支店ほか	66,433,989		
郵便振替	東京00130-8-93294	12,648,445		
前払金	第77・78回学術集会補助金	4,000,000		
〃	理事会会場費	118,000		
仮払金	第78・79回学術集会貸付金ほか	10,981,333		
未収入金	学会誌(和文32-1)以降広告料	410,000		
〃	学会誌(和文30-5)以降別刷料ほか	337,235		
流動資産	合 計		95,119,297	
2 固定資産				
1) 基本財産				
投資有価証券	中央三井信託銀行日本橋営業部 貸付信託	36,000,000		
基本財産	合 計	36,000,000		
2) その他の固定資産				
退職給与引当預金	りそな銀行本郷支店 定期預金	9,786,010		
減価償却引当預金	〃 〃	2,500,000		
国際交流積立預金	UFJ銀行本郷支店 〃	4,500,000		
名簿刊行積立預金	りそな銀行本郷支店 〃	10,000,000		
選挙関係費積立預金	UFJ銀行本郷支店 〃	0		
事務所整備積立預金	東京三菱銀行本郷支店 〃	84,000,000		
学術奨励積立預金	UFJ銀行本郷支店 〃	30,000,000		
〃	みずほ銀行本郷支店 〃	85,500,000		
松尾賞積立預金	郵便局 〃	7,000,000		
〃	りそな銀行本郷支店 普通預金	500,000		
研究開発班設置基金	UFJ銀行本郷支店 定期預金	15,000,000		
電話加入権	3813-5540,5804-8410	192,800		
敷金	(有)クロセビアビル	16,384,500		
その他の固定資産	合 計	265,363,310		
固定資産	合 計		301,363,310	
資産	合 計			396,482,607
II 負債の部				
1 流動負債				
前受会費	平成17年度以降分会費	1,093,000		
前受WFUMB	平成17年度WFUMB購読料	20,000		
前受専門医試験	第15回専門医認定試験受験料	20,000		
会費仮受金	入会未承認新入会員入金分	1,998,500		
仮受金	未確定分の会費収入	13,000		
未払金	委員会会議費	922,714		
〃	平成15年度消費税	1,279,200		
預り金	平成15年度分雇用保険料ほか	263,277		
流動負債	合 計		5,609,691	
2 固定負債				
退職給与引当金		15,784,030		
固定負債	合 計		15,784,030	
負債	合 計			21,393,721
正味財産				375,088,886

Ⅱ. 学会誌

「超音波医学」(和文誌)第31巻Supplement号、第31巻3号から6号と第32巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol. 31 No. 2からNo. 4とVol. 32 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。

		和 文 誌							英 文 誌			
巻 号		31- Suppl	31- 3	31- 4	31- 5	31- 6	32- 1	32- 2	31- 2	31- 3	31- 4	32- 1
本文ページ数		392	59	98	77	70	117	147	50	38	30	26
主	原著 (Original Research Article)	—	14 (1)	10 (1)	0 (0)	8 (1)	7 (1)	0 (0)	28 (4)	28 (3)	18 (2)	26 (3)
	症例報告 (Case Report)	—	6 (1)	8 (1)	12 (2)	14 (2)	13 (2)	12 (2)	0 (0)	4 (1)	4 (1)	6 (1)
	和文翻訳 (OriginalResearch Article)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (16)	0 (0)	8 (1)	—	—	—	—
	和文翻訳 (Case Report)	—	0 (0)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—
な	英文翻訳 (Original Research Article)	—	—	—	—	—	—	—	18 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	英文翻訳 (Case Report)	—	—	—	—	—	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
論	技術報告 (Technical Note)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報	—	4 (1)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	総説	—	0 (0)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	0 (0)	56 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
文	Letters to the Editor	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Editorial	—	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2
	Education	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペ	学術集会プログラム	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	学術集会抄録	310	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会告	—	7	4	21	0	23	5	—	—	—	—
数	研究会報告	—	4	0	0	5	0	0	—	—	—	—
	地方会抄録	—	6	14	0	11	51	39	—	—	—	—
	学会ニュース	—	3	3	3	3	4	4	—	—	—	—
	その他	18	13	51	21	11	17	22	2	4	6	2

()内は掲載論文等の数

Ⅲ. 特別学会賞

第6回特別学会賞は、次の2名に授与された。
松 尾 裕 英(四国電力総合健康開発センター)
中 鉢 憲 賢(東北学院大学電気工学科)

Ⅳ. 松尾賞

第3回松尾賞は、次の2名に授与された。
里 見 元 義(長野県立こども病院)

Ⅴ. 技術賞

第4回技術賞は、次の3件に授与された。

Tissue Strain Imaging

神 田 良 一¹ 阿 部 康 彦¹ 小 林 豊¹ 坂 口 文 康¹ 米 山 直 樹² 鈴 木 智 子² 高 松 勝 幸²
小 役 丸 貴 士² 大 島 文 雄² 永 井 岳 年²

(¹東芝メディカルシステムズ(株)、²東芝医用システムエンジニアリング(株))

超音波血管Volume mode

山 下 優 子¹ 赤 羽 睦 弘¹ 阿 部 周 二¹ 若 林 洋 明¹ 本 橋 健 一¹ 井 沢 恒 久² 望 月 剛¹
(¹アロカ(株)、²アロカシステムエンジニアリング(株))

Ⅵ. 菊池賞(論文賞)

第18回菊池賞(論文賞)は、次の5編に授与された。

基礎領域

超音波用可撓性伝送線路及び大口径振動子との高効率結合技術の開発30(4)

守 屋 正(東京都立大学)

Automatic Virtual Transducer Locating System to Assist in Interpreting Ultrasound Imaging30(Winter)

谷 口 信 行(自治医科大学)

循環器領域

Echocardiographically Evaluated Site of Attachment of Atrial Myxoma May Predict Recurrence30(Summer)

Balaram Shrestha(東京女子医科大学付属病院)

腹部領域

The Usefulness of Mesenterium Thickness as an Index of Visceral Fat Accumulation30(Autumn)

小 野 倫 子(自治医科大学)

泌尿器領域

鍼刺激が尿噴流に及ぼす影響の検討30(2)

手塚清恵(明治鍼灸大学大学院)

Ⅶ. 奨励賞

第5回奨励賞は、次の6編に授与された。

基礎領域

非円筒面音響レンズによる可変焦点HIFU治療システム

石 田 一 成(株式会社日立メディコ)

循環器領域

1.5 ハーモニックRSI心筋超音波造影法による狭心症診断

安 隆 則(自治医科大学附属大宮医療センター)

腹部領域

新しい肝腫瘍造影パターン組み合わせ分類による鑑別診断

磯 崎 哲 男(NTT東日本関東病院)

泌尿器領域

造影超音波の濃染パターンによる腎腫瘍性病変の鑑別診断

高 橋 弥 穂(奈良県立医科大学)

産婦人科領域

子宮肉腫に対する超音波Iリガーを併用した血管新生抑制剤の抗腫瘍効果

江 本 精(福岡大学医学部)

体表領域

頸部リンパ節微細血管構築描出のための新しい造影エコー法

西 田 睦(札幌医科大学)

VIII. 学術集会

第77回学術集会・第7回AFSUMB大会(会長 伊東 紘一)は、平成16年5月17日(月)から21日(金)の5日間、栃木県総合文化センター、及び宇都宮東武ホテルグランデ(栃木県)を会場として開催した。参加人員3,719名、発表内容は下記のとおり。

第77回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 22題(基礎 5、循環器 5、消化器 5、泌尿器 2、産婦人科 3、体表 2) 一般演題 236題(基礎 29、循環器 47、消化器101、泌尿器 10、産婦人科 18、体表 18、脈管 13) ポスター 35題(基礎 3、循環器 11、消化器 11、婦人科 4、体表 2、血管 4) 合計 293題
シンポジウム	1) 甲状腺血流評価の進歩 4題 2) 肝腫瘍の造影超音波診断の現状 5題 3) 心内膜のその下に 5題
教育セッション	1) 初級 5題 2) 基礎 5題 3) 中上級 5題
その他	ランチョンセミナー 新技術開発セッション 特許・知的所有権相談コーナー
機器展示	25社

第7回AFSUMB	
Special Lecture	1) The History of Real Time Ultrasound 2) Ultrasound investigation in space 3) Ultrasound Safety : An Update 4) Clinical Usefulness of Fetal Echocardiography
Presidential Lecture	1) Quantitative Diagnosis Using Ultrasound
Symposia	1) Perspectives of Medical Ultrasound Education in Asia 7題 2) Basics and clinics of the contrast imaging 5題
Post-Congress Meeting Symposia	1) The Bioeffect and safety of ultrasound 5題 2) Advances in sonodynamic therapy 6題
Joint Symposium	1) Animal Ultrasonography 5題

IX. 地方会学術集会

下記の地方会学術集会が開催された。

a. 北海道地方会学術集会

第27回 会長 山本 克之
 平成16年10月16日 於：北海道大学学術交流会館(札幌市) 参加者：223名 演題数：29題
 第28回 会長 高後 裕
 平成17年2月26日 於：旭川グランドホテル(旭川市) 参加者：157名 演題数：32題

b. 東北地方会学術集会

第28回 会長 佐藤 章
 平成16年9月12日 於：ホテル辰巳屋(福島市) 参加者：234名 演題数：25題
 第29回 会長 小野寺博義
 平成17年3月20日 於：長陵会館(仙台市) 参加者：213名 演題数：16題

c. 関東甲信越地方会学術集会

第16回 会長 竹内 和男
 平成16年11月6日～7日 於：砂防会館・全共連ビル(東京都) 参加者：1,241名 演題数：117題

d. 中部地方会学術集会

第21回 会長 井内 和幸
 平成16年10月17日 於：富山国際会議場(富山市) 参加者：212名 演題数：51題

e. 関西地方会学術集会

第28回 会長 秋山 隆弘
 平成16年8月28日 於：千里ライフサイエンスセンター(大阪市) 参加者：835名 演題数：262題
 第29回 会長 増山 理
 平成17年2月19日 於：神戸国際会議場(神戸市) 参加者：776名 演題数：386題

f. 中国地方会学術集会

第40回 会長 東 俊宏
 平成16年9月11日 於：岡山コンベンションセンター(岡山市) 参加者：291名 演題数：28題

g. 四国地方会学術集会

第14回 会長 浦岡 佳子
 平成16年11月6日 於：愛媛県県民文化会館(松山市) 参加者：298名 演題数：41題

h. 九州地方会学術集会

第14回 会長 宇都宮俊徳
 平成16年9月19日 於：佐賀県医師会メディカルセンター(佐賀市) 参加者：660名 演題数：66題

X. 規約等の制定・改正等

1. 制定
(1)「個人情報の保護に関する細則」の制定(平成17年3月31日制定)
2. 改正
(1)社団法人日本超音波医学会役員評議員選任規則実施細則(平成16年5月19日改正)
(2)社団法人日本超音波医学会菊池賞(論文賞)選考内規(平成16年9月10日改正)
(3)社団法人日本超音波医学会奨励賞選考内規(平成16年9月10日改正)
(4)社団法人日本超音波医学会認定超音波工学フェロー資格更新実施内規(平成16年9月10日改正)

XI. 各種委員会等報告

1. 企画委員会(委員長 千田 彰一)
 - a. 本学会正会員増についての検討を行った。
 - b. 各認定試験の再編についての検討を行った。
2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 遠藤 信行)
 - a. 「超音波機器等の安全」についての調査、啓蒙活動を行った。
 - b. 超音波診断機器用プローブの温度上昇に関し、調査、及び検討を行った。
 - c. 超音波造影剤の安全性について、調査、及び検討を行った。
特にワーキンググループを構成し、「パプルの安全性に関する動物実験」を行い、理事会等に報告し、さらに実験結果をAFSUMBで報告した。
 - d. その他、超音波機器の安全性に関する標本読影の検討ため、組織を発足させた。
3. 編集委員会(委員長 名取 博)
「超音波医学」(和文誌)第31巻Supplement号、第31巻3号から6号と第32巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)Vol. 31 No. 2からNo. 4とVol. 32 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。(Ⅱ項参照)
4. 用語・診断基準委員会(委員長 田中 幸子)
 - a. 医用超音波用語関係
(1)日本医学会分科会の全てに「医用超音波用語集」を送り、整合性を図ってもらうことを要請した。
(2)「医用超音波用語集」の改訂のため会員から意見を伺った。
 - b. 超音波診断基準関係
(1)「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍像形成性病変について」(案)を完成し学会誌に公示(超音波医学第31巻5号)し、会員の意見を取りまとめた。
(2)「心機能指標の標準的計測法とその解説」(案)の日本語版を完成した。
(3)「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準の分類とその基準」(案)日本語版を完成した。
(4)「肝腫瘍の超音波診断基準」の改訂に向けて小委員会を設置し、検討を行った。
(5)「結節性甲状腺診断基準」の策定のため小委員会を設置し、検討を行った。
(6)「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍非形成性病変」の策定のため小委員会を設置し、検討を行った。
(7)「眼科領域計測法のためのガイドライン」の策定のため小委員会を設置し、検討を行った。
5. 保険委員会(委員長 跡見 裕)
 - a. 外保連、及び内保連へ診療報酬点数改定、及び新規適用項目を取りまとめて、要望書を提出した。
 - b. 他学会、及び関係団体との情報交換を行った。
 - c. 会員等から保険診療の査定方針等の意見の収集と整理を行った。
6. 国際交流委員会(委員長 工藤 正俊)
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。
(1)2004年度超音波医学会Fellowship研修生を公募し、選考を行い、2名の研修を実施した。
(2)宇都宮のAFSUMB2004大会に外国人を対象とした優秀演題に対して選考し、travel awardsを支給した。
(3)今後の検討課題について、委員会を開催して検討を行った。
 - b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)関係
2006年にソウル(平成18年5月28日～6月1日)にて開催する第11回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
 - c. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)関係
2004年度AFSUMB Educational Committee主催の教育ワークショップ(パキスタン)、WFUMB Educational Committee主催のワークショップ(フィリピン)に講師を派遣し、学術支援・国際交流を行った。
7. 教育委員会(委員長 鄭 忠和)
 - a. 第77回学術集會会期中の平成16年5月17日(月)にコンサーレ(宇都宮市)を会場として、第3回教育セッションを開催した。
 - b. 第78回学術集會会期中に東京都にて開催予定の「第4回教育セッション」の企画案を検討し、開催に向けての準備を行った。
 - c. 「超音波専門医研修カリキュラム」の英語版作成に向けて、業者に英訳を依頼し、その内容の検討を行った。
8. 超音波専門医制度委員会(委員長 別府慎太郎)
 - a. 超音波専門医制度の改革・整備に関する審議を行った。
 - b. 平成16年度に認定した研修施設(新規19施設、更新17施設)に対し、平成16年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示した。(超音波医学第31巻2号)
 - c. 第14回超音波専門医認定試験を実施し、合格者52名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成16年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第31巻5号)
 - d. 第10回超音波専門医資格更新を実施し、更新者95名、猶予・保留者5名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成16年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第31巻5号)
 - e. 平成16年度超音波指導医の認定審査を行い、新規22名、及び更新87名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成16年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第32巻1号)
 - f. 第15回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第32巻1号)
 - g. 平成16年12月1日現在での超音波指導医・所属施設一覧を公示した。(超音波医学第32巻1号)
 - h. 第11回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第32巻2号)
 - i. 平成17年度研修施設の指定に向けての審査を行い、新規21施設、更新8施設を指定して、平成17年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する予定である。(超音波医学第32巻2号)
 - j. 「第12回国際脳神経超音波学会」より申請のあった超音波専門医資格更新実施内規における指定超音波関連学会・研究会指定についての審査を行い、新たに指定超音波関連学会に指定し、学会誌に公示した。(超音波医学第32巻1号)
 - k. 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂版第4版)を発行した。
 - l. 企画委員会と連携して本学会正会員増についての審議を行った。
 - m. 有限責任中間法人日本専門医認定制機構総会に出席した。

9. 顕彰委員会(委員長 菅原基晃)
 - a. 第18回菊地賞(論文賞)の選考を行い、5編を授賞した。
 - b. 第6回特別学会賞の選考を行い、2名を授賞した。
 - c. 第5回奨励賞の選考を行い、6名を授賞した。
 - d. 第4回技術賞の選考を行い、2編を授賞した。
 - e. 第3回松尾賞の選考を行い、1名を授賞した。
 10. 超音波検査士制度委員会(委員長 竹中 克)
 - a. 第20回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,111名に対して検査士の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成17年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第32巻2号)
 - b. 2005年超音波検査士資格更新を実施し、更新者690名、猶予・保留者32名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成17年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第32巻3号)
 - c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 椎名 毅)
 - a. 第6回超音波工学フェロー認定審査を行い、3名に対して工学フェローを認定し、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第31巻5号)
また、併せて希望者には平成16年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - b. 第1回超音波工学フェロー資格更新審査を行い、更新者60名、猶予者4名、名の認定、及び登録を行い、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第31巻5号)
また、併せて希望者には平成16年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - c. 第7回超音波工学フェローの公募実施に関する会告を学会誌及びホームページにて公示した。(超音波医学第32巻1号)
 12. 研究開発促進委員会(委員長 里見元義)
 - a. 平成16年度研究開発班設置申請9件の審査を行い、9件(継続3件・新規6件)の開発班の設置を認可した。
 - b. 第77回学術集会会期中に「新技術開発セッション」を実施した。
また、「特許相談コーナー」を設け、法律事務所の弁護士が対応した。
 - c. 平成16年度研究会設置申請3件の審査を行い、以下3件(継続2件・新規1件)の研究会の設置を認可した。
 - 1) 基礎技術研究会
 - 2) 超音波薬物遺伝子導入研究会
 - 3) 血管超音波研究会
 - d. 平成17年度研究開発班設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第31巻5号)
 - e. 平成17年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第31巻5号)
 13. 平成16・17年度選挙管理委員会(委員長 椎名 毅)
 「社団法人日本超音波医学会役員評議員選任規則」に基づき、平成16・17年度役員及び評議員選出選挙結果を理事長に報告した。
 14. 倫理委員会(委員長 伊東 紘一)
 倫理委員会委員を選定した。
 15. 会員資格審査関係(担当理事(主) 谷口 信行)
 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
 16. 学術集会関係(担当理事(主) 松崎 益徳)
 第80回学術集会会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定した。
 17. 地方会関係(担当理事(主) 岡井 崇)
 - a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行った。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行った。
 - b. 地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
 18. 規約関係(担当理事(主) 伊東 正安)
 本会規約等の制定、及び改正を行った。(Ⅶ項参照)
 19. インターネット関係(担当理事(主) 金井 浩)
 - a. 英語版のホームページの一層の充実に努めた。
 - b. 学術集会、地方会、及び各種委員会等の広報の充実を図った。
 - c. 会員への特別な情報提供のための環境整備の構想作りを行い、正会員、準会員に限定して参照出来る専用WEBの仕様を決め、そのWEB作成のための具現化を図った。また、学術集会、地方会、各種研究会等の案内を電子メールで通知するため、電子メールアドレスの整備を行った。
- XII. 日本医学会関係(担当理事 松崎 益徳)
1. 第72回日本医学会定例評議員会に出席し、次期日本医学会会長、及び副会長の選挙を行った。
 2. 日本医学会シンポジウムに協力した。
- XIII. 日本学術会議関係(担当理事 松崎 益徳)
1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加した。
 2. 日本学術会議会員候補者に関する情報提供を行った。